

春秋会

ニュースレター

2025.2



今月の予定

- ・ 2/7 (金) 18:00～
研修 研修委員会
岡口裁判官講演
①事実認定
②裁判官生活を振り返って
③弾劾裁判について
- ・ 2/13 (木) 19:00～
美食会 若手会
- ・ 2/21 (金) 12:00～
幹事会
- ・ 2/26 (水) 12:00～
第4回選考委員会

大阪弁護士会副会長

当選祝賀会及び新年会の様子

親睦委員 横瀬 大輝(65期)

2025年1月29日(水)、中之島ソーシャルイートアウェイクにて、「大阪弁護士会副会長当選祝賀会及び新年会」が開催されましたので、当日の様子をお伝えいたします。

この日は、折しも、同じ日のお昼に、「令和7年度会長・副会長の抱負を聴く会」が開催された日でもあります。参加者がそれぞれ、次期大阪弁護士会副会長の河野豊先生らのお話を聴いた上で、激励をしたいという想いで多数の会員が集まりました。

総合司会の松尾先生の進行のもと、まずは乾杯の挨拶として村瀬謙一幹事長によるご挨拶がありました。村瀬先生は、「抱負を語る会」をご覧になったそうで、河野先生のスピーチが「一番良かった!」と熱い一言から会は始まりました。



本日の主役、次期副会長の河野先生からご挨拶をいただきました。これまで人権問題に取り組んできた経験を活かしていきたい、特に最近のネット・SNSでの言葉のいじめ問題に強い危機感抱いていることが語られました。河野先生の挨拶は、力強くも温かいメッセージに溢れており、参加者一同が深く共感し、河野先生の姿勢に対する称賛の拍手が広がりました。

河野先生への祝福と激励を込めて、花束が贈呈されました。河野先生も感動の面持ちで受け取られていました。

2024 年度 広報委員

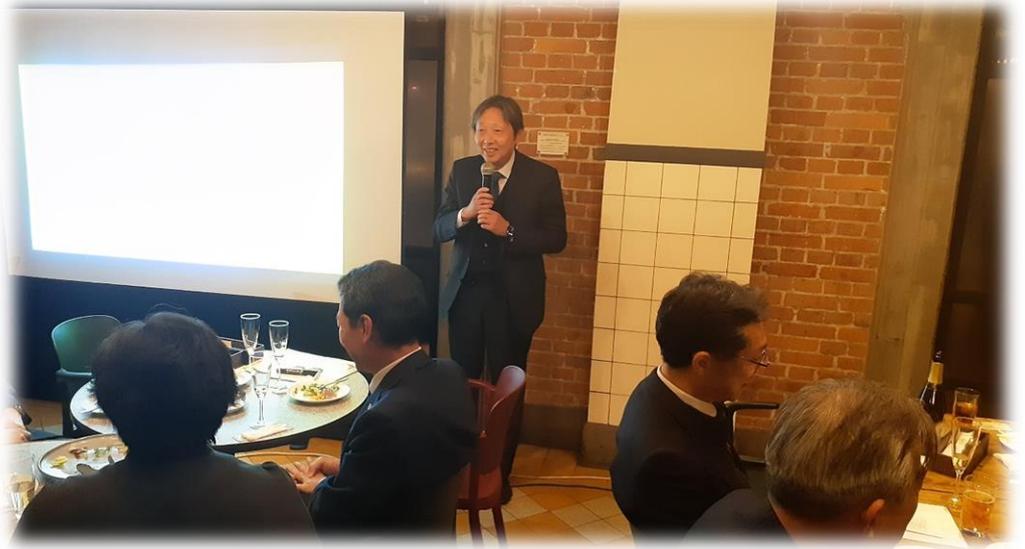
- ・河野 雄介 (60 期、委員長)
- ・小野 順子 (57 期、担当副幹事長)
- ・西原 和彦 (55 期)
- ・堀川 智子 (57 期)
- ・溝上 絢子 (57 期)
- ・浦 寛幸 (59 期)
- ・松尾 洋輔 (59 期)
- ・広瀬 元太郎 (60 期)
- ・柳 勝久 (61 期)
- ・山田 寛子 (65 期)
- ・金星 姫 (66 期)
- ・木場 晶子 (67 期)
- ・田村 瞳 (67 期)
- ・板崎 遼 (67 期)
- ・吉留 慧 (68 期)
- ・高一 成 (69 期)
- ・根本 俊太郎 (70 期)
- ・足立 敦史 (71 期)
- ・村本 健司 (71 期)
- ・河野 哲平 (71 期)
- ・才木 晴幹 (72 期)
- ・中岡 さつき (72 期)
- ・中西 教子 (72 期)
- ・久井 大輝 (73 期)
- ・佐々木 崇人 (74 期)
- ・神澤 鈴子 (74 期)
- ・今野 敬文 (76 期)
- ・小林 悠人 (76 期)
- ・永田 駿 (76 期)
- ・山口 謙都 (76 期)



続いて、来賓の法曹公正会の3名の方々からご挨拶をいただきました。次期大阪弁護士会会長の森本宏先生からは、「副会長に支えて欲しい」「副会長には八面六臂の活躍をして欲しい」と期待を込めたメッセージを送っていただきました。河野先生と同じく副会長に就任される和田義之先生からは既に予定表が一杯になっていると会場の笑いを誘いましたが、激務に対しても責任感を持って対応されるご様子が伺えました。法曹公正会の幹事長である足立毅先生は、河野先生とは同期とのこと。元福田会長の時代の会長・副会長は、今でも2か月に1回の頻度で飲み会を開くとのこと、大切な仲間が沢山できたことを楽しそうに語っていただきました。



続いて、春秋会のメンバーから激励のお言葉です。豊川義明先生からは、河野先生がおっしゃった「独立していきたい」という思いに共感を示され、ご自身も初心を思い出したと、温かいエールが送られました。福田健次先生からは、「みんなで議論して、仲良くやって欲しい。健康には気を付けて」と、河野先生に寄り添った温かい激励の言葉が送られました。



しばしの歓談の時間を挟み、参加者一同で和やかな雰囲気の中、笑顔と笑い声が絶えない懇親のひとときを過ごしました。

総合司会は横瀬にチェンジし、河野先生への激励の言葉はまだまだ続きます。木村圭二郎先生からは、「副会長就任はお祝いでいいのかわからない」と笑いを取りつつも、ご自身が副会長になったときには沢山の仲間ができたことが最大のメリットだったと、エールが送られました。中井洋恵先生からは、「抱負を聞く会で河野先生の挨拶が一番印象的でした。」と持ち上げつつも、「自分だけネクタイしていないとかいって、ポケもかましていましたよ!」と河野先生のお人柄がよく分かるエピソードもお話いただきました。改めて、会場は、河野先生への激励の拍手で包まれました。





次いで、大人気のジェスチャーゲーム大会が開催されました。まずは河野先生が演者としてスタートを切りました。河野先生へのお題は【高所恐怖症な人が、じゃんけんで負けた罰ゲームであべのハルクスの屋上からバンジージャンプをすることになったので、遺言書を書いて、バンジージャンプを行った。】と激ムズのお題。周りからは色々とヤジが飛んでいましたが、必死に演じられる河野先生の姿が愛おしかったです。次の演者は松尾先生。【ジェスチャーゲームのお題を見せられ、「マイケルジ」とう文字だけを見て勝手に「マイケルジャクソン」だと思い込み、全力でムーンウォークをしたが、正解は「マイケルジョーダン」で不正解となった人】というこれもまた激ムズであるにもかかわらず、驚異の演技力で逆に正解チームが増えるという展開に。最後は濱田先生による熱演。【正月終わりに体重計に乗ると10キロ増えていたので、さすがに体重計が壊れていると思い、家電量販店に新しい体重計を買いに行き測りなおしたが、やっぱり10キロ増えていた人】とこれもまた激ムズのお題。最近の親睦委員は、攻めますね。松尾先生がフォローで演技をするという思わぬ展開もありましたが、濱田先生の熱演で会場もますます大盛り上がり。お題には一切登場しなかったのに「オートロックのマンション」がなぜか全体を通じた1つのテーマになった、不思議なジェスチャーゲーム大会でした。終始笑いが絶えず、全員で楽しい時間を過ごしました。

いよいよ会も終盤です。現副会長である松井淑子先生から、河野先生へのメッセージが送られました。副会長の仕事は「ジェットコースターのように忙しい」、「会の全体像がよく見えるようになった」と松井先生らしいお言葉をいただきました。さらに次期春秋会幹事長である黒田愛先生からご挨拶がありました。ご自身の副会長時代は、「あっという間の時間」だったそうですが、「言いたいことはドンドン言ってください!」と熱いエールをいただきました。



親睦委員長である間野先生に締めのご挨拶をいただき、盛会に終わりました。全員の絆がさらに深まった、素敵な会になりました。

ご参加いただいた方、改めてありがとうございました。今年度最後の企画として3月5日に「ワインの夕べ」も企画していますので、皆様ふるってご参加ください。

以上



三淵邸・甘柑荘へ

～メンタル回復のために～

中岡さつき(72期)

昨年9月に「虎に翼」が終了してしまい、「虎に翼」ロスを払拭すべく、同年11月に三淵嘉子裁判官が別荘として愛用されていた三淵邸・甘柑荘に行ってきました。



うちにはテレビがないため、「虎に翼」が放送され始めた頃は見るつもりはありませんでしたが、実家に帰った際、母親が録画していた「虎に翼」を見ると、ちょうど寅子(伊藤沙莉さん)が高等試験司法科に挑んでいる場面で、あっという間に引き込まれました。

そこで、お金に物を言わせてサブスク契約!!夜な夜な遅れた分を一挙見!!

あっという間に追いつき、毎日、配信されるのを心待ちにして見るようになりました。寅子を真似て「はて、はて、はて、はて」と連呼していました。

ところで、日本女性法律家協会の企画でレジェンド先生の活躍を記録に残そうというプロジェクトが立ち上がっていました。私も黒田愛先生と参加させていただき、令和5



年12月に広島県の大国和江先生にお会いし、どういうお気持ちで弁護士になろうと思われたのか、どういう苦労があったのかを拝聴しました。

大阪では滝井朋子先生にもお会いし、女性弁護士が少ない時代の状況をお聞きました。もちろん弊所ボスからも聞いていたので、先生方から聞いた話がドラマで映し出されている寅子の状況と重なり、「虎に翼」を見ると、女性弁護士が抱く社会への思い、法律家としての理念や気概、苦労に触れている気持ちになり、奮い立たされました。

そんな中、10月上旬から、私が担当していた刑事事件がどれもこれも再逮捕・再勾留が繰り返しなされ、どこかの警察署から接見要請が入っている日が続いていました。この頃、私のマインドは「どいつもこいつも勝手なことばかり言って!!」となっていました。これではダメだと思い、落ち着いたタイミングで、金曜日のお昼に堂々と事務所を抜け出し、新大阪から新幹線で小田原へ向かいました。

目的は柑桔荘に行って、弁護士マインドを奮い立たせ、正常なメンタルに回復させることにありました。

行って大正解でした!

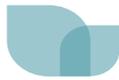
三淵裁判官が生活されていた雰囲気を味わいながら、「三淵裁判官と同業者!」という気持ちで観覧しているうちに、どんどんやる気が蘇ってきました。受付の方に「大阪から来ました。私も弁護士です。」と絡んでいったところ、受付の方が三淵裁判官の親族の方で話に花が咲きました。



せっかく小田原に行ったので、その後は足湯を楽しみ、海鮮丼を食べて帰ってきました。

月曜日からは優しい気持ちで接見することができました。行ってよかったです。

以上



執行部だより

研修担当副幹事長 今井力 (56期)

前回の執行部だよりでは、「サッカー観戦」という執行部とはまったく関係のない記事を書いてしまいました。では今回の原稿はどうしよう。執行部退任挨拶の原稿とメ切時期が重複しているな。執行部らしいことは退任挨拶で書いて、今回も執行部とはまったく関係のない内容にしようかな。でも、2回連続はさすがに怒られそうだな。

というわけで、真面目に執行部らしいことを書きます。

私の担当は、研修委員会です。研修委員会に何年所属しているのかわかりませんが、どうやら研修委員長2回、研修担当副幹事長2回を歴任しているようです(その他にも政策副幹事長1回)。そこで今回のニュースレターでは、研修委員長と研修担当副幹事長との役割の対比を試みます。

この対比は私個人の意見やスタンスになるかもしれませんが、その前提でお読みください。

研修委員長の役割は、まさに「委員会運営の中心」です。定例会議レジュメ作成、司会進行、研修企画の採否決定、企画の主任の指定、研修講師への挨拶や事前ミーティング参加、研修本番での開会または閉会挨拶など多岐にわたる役割を担います。また、定例幹事会や総会での活動報告など会員へのアナウンスも行います。山本婦紗子委員長の獅子奮迅のご活躍に感謝です。

他方、副幹事長の委員会における役割は、他の委員会主催企画との日程調整(イベントの重複や近接を避ける)、他の委員会との共催依頼、幹事長の出席確認、予算や会則の確認などです。他の委員会や会則関係との「調整役」を主に担っています。

こうやって私が「調整役」に徹することができるのも、研修委員長のみならず研修委員会メンバーによる頼もしい活動があってこそです。委員会メンバーの皆様にも感謝です。

本年度も、梅乃宿酒造酒蔵見学を親睦委員会と、岡口元裁判官の弾劾裁判研修と若手会とそれぞれ共催させていただきました。共催いただいた委員会の皆様にも、この場を借りてお礼申し上げます。

もちろん、正副幹事長には「春秋会全体の運営」という役割があり、正副幹事長会の定例会議ではあれやこれや議論をしていますが、この度の記事は、委員長と担当副幹事長の役割にフォーカスした内容にさせていただきました。

研修委員会は皆さんに役立ち楽しんでいただけるように企画立案に取り組んでいます。ぜひ皆様研修にご参加下さい。また、研修委員会の定例会議は、いろんな方が参加しやすいよう毎回12時からZoomで行っています。研修委員会のメンバーとなってお一緒に活動していただければなお嬉しいです。

よろしく願いいたします。

以上



あとがき

広報委員会では、会員の皆様から原稿を大募集します。ぜひ、ご連絡ください。

- 1 今までのニュースレター・会報の記事に対するご意見
- 2 子育て体験談
- 3 変わった国に行った旅行記
- 4 ペットや趣味の紹介
- 5 感動した本、マンガ、ゲームの紹介

などありましたら、以下のアドレスにご連絡ください。

広報委員長 河野雄介 y.kono@swlaw.jp